

「第3次石狩市漁業振興計画の策定について」に寄せられた意見と検討結果

【パブリックコメント実施期間】 令和3年12月20日(月)から令和4年1月20日(木)まで

【担当部局】 企画経済部林業水産課

【意見提出者】 2人

【意見件数】 4件

【意見への対応】	採用	: 意見に基づき原案を修正するもの	0件
	一部採用	: 意見の一部に基づき原案を修正するもの	1件
	不採用	: 意見を反映しないもの	1件
	記載済	: 既に原案に盛り込まれているもの	0件
	参考	: 原案に盛り込めないが今後参考とするもの	0件
	その他	: ご質問・ご意見として伺うもの	2件

【意見の検討経過】 令和4年 1月21日～ 2月 9日 当課において意見の検討及び検討結果(案)の作成
令和4年 2月15日 関係部局に合議のうえ、市長決裁にて最終決定

「第3次石狩市漁業振興計画の策定について」寄せられた意見と検討結果

	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	<p>今、漁業を支える石狩湾の海が、魚が生存しにくい方向へ変わっていると考えられる。</p> <p>計画期間中2024年に石狩湾新港洋上風力発電事業10万kWが稼働、さらに2029年頃からは石狩湾一般海域洋上風力発電事業も60万kW程度の規模で稼働している可能性が高く、漁業を支える石狩湾の環境がさらに大きく変化することがわかっている。</p> <p>洋上風力発電建設時には、海底の砂泥を巻き上げ広範囲に浮遊・拡散し海藻類の光合成を疎外、海藻類の生育に影響する可能性があるほか、洋上風力発電設備は気象、海象に影響を与え、海中の水温分布や、栄養塩の循環に影響がでる可能性がある。海中では新たな構造物ができることで、海流及び砂の動きにも変化がおき、底生の生き物への影響が予想される。</p> <p>したがって、洋上風力発電建設時、及び稼働後について、石狩湾の気象・海象・海の動植物に与える影響のモニタリングが必要になる。</p> <p>そこで、P4、(2) 目指す姿と基本体系 の【計画体系図】(2) 漁場環境の保全 に「 洋上風力発電事業による漁場環境に与える影響のモニタリング」を追加していただきたい。</p>	不採用	<p>本計画は、漁家経営の安定化や漁業の近代化、生産性の効率化などを通して漁業振興を推進し、「持続可能で魅力ある漁業」を目指すものであり、ご意見の洋上風力発電建設の影響やモニタリングといった開発行為に伴う事項は、今後の建設事業のなかで関係者により協議されるものと考えます。</p>

	意見の要旨	検討結果	検討内容
2	<p>p4、(2) 目指す姿と基本体系の文に追加 一次産業は健全な自然が持続的に維持・存続することで成り立つ。特に石狩湾沿岸は、生物多様性の観点から重要な海域である。石狩湾はカレイの産卵場所になっており、ここで育ったカレイはオホーツク海まで行き、そこの沿岸漁業を支えている。石狩湾の特徴、独自性をどこかに記載してほしい(p8の「1 石狩市の漁業」の前に「石狩湾の特徴」を説明する項があってもよいかもしれない)。</p> <p>P4、(2) 目指す姿と基本体系 の2～3行目「自然が持つ生物多様性や多面的機能とその再生力を維持し後世に繋げることが重要となります。」の後に、以下の文の追加を希望。</p> <p>「特に、石狩湾沿岸は、環境省が抽出した「生物多様性の観点から重要度の高い海域」で、水産資源を含めた多くの海洋生物や海鳥の産卵、繁殖、生育場所となっており、これらの生物の種の存続のために必要な場所となっています。さらに、石狩湾はカレイの産卵場所になっており、ここで育ったカレイはオホーツク海まで行き、そこの沿岸漁業を支えており、より広域の漁業にも貢献しています。石狩市の漁業振興のためには、石狩湾沿岸海域の環境保全は重要な要と言えます。」</p>	一部採用	<p>ご意見を踏まえ、P8 「1 石狩市の漁業」のなかに「生物多様性の観点から重要度の高い海域」について、追記します。</p> <p>北海道最大の流量を持つ石狩川が注ぐ石狩湾は、対馬暖流と淡水の影響域を有し<u>種の生息域や産卵場など多様な水産生物の生態系を持ち、陸域に広がる砂浜や砂丘などを含む沿岸域の良好な自然環境や生態を背景に、環境省による「生物多様性の観点から重要度の高い海域」の一つに抽出されています。これらの豊かな自然環境の下、</u>今日もさけ定置網漁業を中心にニシン、カレイ、ヒラメなど多種類の刺網漁業や、なまこ漁業、たこ漁業、区画漁業権が設定されているほたてがい養殖業なども行われています。</p>

	意見の要旨	検討結果	検討内容
3	<p>p6、 漁業と持続可能な開発目標 SDG ' s</p> <p>「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」が目標として取り上げられている。しかし、本文中にはこれに関する記載がない。電話で問い合わせたところ、「漁業を行うにあたって、エネルギーを効率化していこう」ということで取り上げたとのこと。そのこともどこかに記載してはどうか。整合性がとれていないので気になった次第。ただ、この目標は再エネ推進の場面でよく引き合いに出される目標なので、「洋上風力を推進しよう」というメッセージにも見える。いずれにせよ、「7」を目標として取り上げるのであれば、具体的に何をするのかの説明がほしい。</p>	その他	<p>本計画は、漁業の側面から SDGs の達成に向け取り組むものとして位置付けており、漁業振興対策の7分類において SDGs との関連をアイコンで表示しています。個々の振興対策においては、関連する SDGs の目標やターゲットの視点を踏まえた様々な取り組みが考えられることから、具体例は明記しておりません。</p> <p>ご意見の「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」についての一例は、ターゲットにある「エネルギー効率の改善」に向けた取り組みとして「船舶の燃料消費や製氷等のエネルギー消費における効率化」があげられると考えます。</p>
4	<p>SDGs 目標の7 エネルギーをみんなにそしてクリーンにとあるが、現在石狩湾には約 870 基大型風力発電の計画があるが、洋上に建設されることによる風車の羽根の回転の影響で水温や波、海中の生物への影響を及ぼすと専門家から伺ったことがある。また、事故発生時に迅速な対応が取れれず漁業に多大な影響を及ぼすことも懸念される。</p> <p>福島県沖で国による大型洋上風車が建設されてが、トラブル続きでほとんど稼働することなく解体された事実もある。</p> <p>石狩湾の計画では海底 50m 掘削とあり海底、海中、海上及び音の影響も考えられクリーンエネルギーとは言</p>	その他	<p>本計画は、漁業の側面から SDGs の達成に向け取り組むものとして位置付けており、漁業振興対策の7分類において SDGs との関連をアイコンで表示しています。</p> <p>また、本計画は、漁家経営の安定化や漁業の近代化、生産性の効率化などを通して漁業振興を推進し、「持続可能で魅力ある漁業」を目指すものであることから、洋上風力発電建設に関する内容は、ご意見としてお聞きします。</p>

	意見の要旨	検討結果	検討内容
	<p>えない。</p> <p>既に洋上発風車が建設されている北欧の漁師は漁業で暮らしていけなくなったと困っている。</p> <p>漁師のみならず近隣住民等にも懸念されます。また、鳥類に生息にも過酷な環境となると思われる。</p> <p>石狩湾の海の幸や夕日に癒しを求める観光客の減少も危惧される。</p> <p>石狩の海の幸や漁師を守っていく、また次世代に漁業をつないでいくことに行政として力を注いでほしい。</p> <p>日本海は風力発電のポテンシャルが良いという事業者の言葉をうのみにしないでほしい。実働は計画の20～30%程度であり風車の羽根の処理方法も確立されておらず、風力発電先進国のアメリカでも地中に埋設しておりエコでクリーンとは全く言えない。</p> <p>いま一度豊かな海を取り戻すため、また維持する方法を知恵を出し合い考えてください。</p>		